

12月 活動報告



12月は、地域ごとにお祭りのようなものがたくさんありました。最初に行ったのは、キトのお祭りです。学生たちが楽器を演奏しながら、女子生徒がスティックを持って踊ります。ステージでは、歌手の方が何曲も歌って場を盛り上げていました。みんなで曲に合わせて踊って、掛け声をするのが楽しかったです。

また別の日は、私の地域(Tumbaco)のお祭りに行きました。商店街の道を伝統衣装を着て踊ったり、同じ学校の女子生徒もキトと同じくスティックを持って踊っていました。たくさんの団体がいたので飽きませんでした。



11日は、キト配属のみんなでランチに行きました。Amigo secretoというゲームをしました。日本ではプレゼント交換のようなものですが、紙に全員分の名前をを書いて、引いた人にプレゼントを買います。あげる方も貰う方もどちらも楽しめるので日本のクリスマスでもやりたいです。これまでの生活を振り返って大変だったことや楽しかったこと、自分のくにとは違うことなどを話を話しました。



友達の家に行くために初めて1人でバスに乗りました。しかし満員だったため、目的のバス停で降りれなくて焦りました。みんなで学校の課題を終わらせたあと、公園に行ってバスケットをしました。すごく学生らしくて、楽しかったです。



調理実習では、クリスマスに食べるMedallones de polloという料理を作りました。私は先生の説明がうまく聞き取れず、なにをすれば良いかわからず焦っていたところ友達が声をかけてくれたおかげで少しだけ手伝うことができました。次回は自分からなにをすればよいのか聞けるようにしたいです。

次の日は学校最終日で、私のクラスはクリスマスのパジャマで登校しました。全校生徒が校庭に集まり、クラスごとのレクリエーションを披露しました。クリスマスソングで踊ったり、男子生徒が女装して飴を振りまいたり、どのクラスもユニークで面白かったです。





クリスマス当日は、親戚が集まってご飯を食べたり、ここでもAmigo secretoをやりました。私は従兄弟からパジャマをもらいました。エクアドルではこどもたちは、袋いっぱいのお菓子がもらえます。大人数と話すと、普段自分が使わないスペイン語を知ることができるのでとても良いのですが、質問されたとき答えられないと悔しいです。

エクアドルは、カトリック教徒が多いのでクリスマスは日本より盛大で、上旬から街全体がクリスマスモードになっていました。でも半袖で過ごせる違和感とともに今までにないクリスマスを味わうことができました。





人生初、滝に行きました。車で2時間ほどでやっと到着した—と思っていたら、茂みのなかに ENTRE(入口)と書かれている看板を見つけ、正直おどろきました。そこから前後左右緑に囲まれた、一応、道、、みたいなところをどんどん進んでいきましたが、想像の50倍はハードすぎました。水の音が近づいてるのを感じながら友達とワクワクしながら、ようやく到着しました。かなり近距離でとても涼しくさっきまで熱かった体も一気にひんやりしました。その後は泳いだり、滝の裏側に行ったり、友達とたくさん写真撮ったり、みんなでお昼ご飯を食べたり、素敵な思い出になりました。

大晦日も親戚のみんなと日付が変わるまで起きてはしゃいでいました。エクアドルでは、Monigotesという紙で作られた人形を年が明ける瞬間に燃やしたり、男性が女装して道路で踊ってお金をもらったり、家族全員とハグをして、さらには近くにいた知らない人も「Feliz ano! 」と言ってハグをしてくれました。花火もあがっていて、華やかな大晦日になりました。

